フリガナ	キタ　イチロウ	学部　学科など	生物資源科学部 地域開発科学科
氏　名	**喜多　威知郎**	職　名	教授
		講　座など	農林システム工学講座
専門分野	・水利環境システム工学	その特徴	「水」を限られた資源として有効利用する手法や快適な環境を創造する手法の開発
研究テーマ	**・『数理計画法の応用による水利用計画の策定』** **・『資源循環による快適な緑化システムの構築』**	その特徴	・現存のダムなどの水利用施設の運用状況を分析し，一層有効に利用するための方策を検討する． ・雨水やリサイクル資材を利用して，快適な緑化システムを構築することを試みる．
可能な共同研究・地域連携	**・テーマ・項目：**雨水利用や施設やリサイクル資材による緑化システムの構築 **・要望事項：**上記に関連すれば，特に要望はありません．		
可能な科学技術相談	**・項目：**水利用，雨水利用，屋上緑化		
キーワード	水利用，雨水利用，緑化，環境問題，リサイクル資材、ダム水配分		

＊　研究のポイント

◈ 資源循環による快適な緑化空間の創造

近年，顕在化している都市型洪水やヒートアイランド現象等の環境問題に対する解決策として，多大な費用を要する大規模な施設ではなく，軽微な費用で容易に設置できる小規模な施設を普及させたいと考えています．

・雨水利用

利点
一時的な貯留機能による都市型洪水や貯留した雨水の利用による上水道の節約等

制約
大規模なものは設置場所の制約から建造物の地下に限定されることが多く，現存の建築物に新たに導入することは，工事の面から困難

・屋上緑化

利点
断熱効果によるエネルギー負荷の緩和や安らぎ空間の創造等

制約
現存の建築物に設置するには，耐荷重，妨根，防水等を考慮する必要

◆ 目的とするもの

環境問題を緩和するために，雨水利用と屋上緑化のそれぞれが持つ利点を複合的に融合
現存の建築物にたやすく設置
植栽基盤などにリサイクル資材を利用
「水」も有限の資源として，有効に利用

⇩

環境に優しい緑化システムの構築

連絡先　Tel 0852-32-6030　Fax 0852-32-6030 E－Mai l kita@life.shimane-u.ac.jp